

宝塚市議会報告

本気の力！市政を変える。VOL. 22

—私たちのまちは、私たちでつくる。—

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX : 0797-72-2130

Topic

- ご挨拶
- 一般質問(9月議会)
- いとう順一プロフィール
- メルマガ・ミニ集会のご案内
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会等から捻出し政務活動費は使用していません。



宝塚市議会議員 **いとう 順一** (無所属)

ご挨拶

秋涼のみぎり、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

宝塚市議会では、平成 28 年 第 3 回市議会(9月定例会)が、平成 28 年 9 月 2 日～10 月 6 日(35 日間)の日程で開催されました。今回は、この 9 月議会の報告になります。

9 月議会に提出された議案は、総務・文教生活・産業建設の各常任委員会に付託され、慎重に審査させていただきました。審査の概要や賛否については、後日市内の全世帯・全事業所へ個別宅配されます「議会報かけはし」をご覧くださいければ幸いです。

さて、我が市は、宝塚歌劇の華やかなイメージもあいまって、優れた住環境を売りにし、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、住宅都市として急激に発展してきましたが、現在、高齢化、少子化、山手住宅の空家、市内小学校の児童数の偏在化、インフラの老朽化、市税の減少、財政難、更にスプロール化解決等、諸問題を抱えている今、政策の見直しを凶らねばならない時期にきています。

※スプロール化…都市が発展拡大する場合、郊外に向かって市街地が拡大するが、この際に無秩序な開発を行うこと

長年、優れた住環境を志向するあまり、産業政策を疎かにしてきた結果、これまでも明らかにしてきたように、一人当たり市民税法人分の順位は、同規模他市の中でも最下位です。更に商工費・土木費にかかる予算の割合が、伝統的に我が市は小さいですが、特にその傾向が近年加速している現状です。

そして団塊の世代の大量退職時代に伴い、勤労所得者が年金所得に変わることによって、市税収入が減少している現状の中で、宝塚市に「住んでみたい」・「住み続けたい」と思って頂くためには、経済施策の充実が必要となります。

しかし、財政の厳しい我が市において、財源の問題が必ずついて回ります。

財源を確保するためには、行財政改革を徹底し、効率的な運営を目指し、投資財源を確保するとともに、有効な経済対策で、雇用が増え、勤労者や事業者の所得が増える事によって、税収が増加し歳入を増やすことが本筋です。

今回の一般質問では、どのような施策展開をすれば地域経済を好循環させることができるか？このことを人口問題と絡ませながら質疑させて頂きました。

2 ページ以降に詳細を書かせていただいておりますので是非ご一読いただけますようお願い申し上げます。



ブログ随時更新中！ <http://jito.jp> (携帯でも閲覧できます)

いとう順一の活動や考え方を、週 3 日～4 日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。